

# 「SCにほんごクラブ」 学校案内



SCにほんごクラブ  
運営委員会

# 内容

- I. 学校の沿革、教育方針など
- II. 学校生活 (クラス紹介、対象者、カリキュラム、評価など)  
多読の試み
- III. 課外活動、教師研修
- IV. SCNC運営の特徴
  - a. 教師ローテーション
  - b. TA導入
  - c. 授業料の支払い方法  
(月謝と回数券)
    - a. SCNC後援会(応援団)



校舎全景



# I. SCにほんごクラブ設立の背景

1980年代半ばより積極的な日系企業のサウスカロライナ州進出が始まり、経済摩擦を避けるため友好親善活動を目的とするJAASC（日米協会）が日米双方の有志により設立されました。

1989年には帰国を前提としている駐在員子弟のためのグリーンビル補習校が設立され、同時に活発な文化経済交流が始まりました。令和に入り長期滞在邦人の増加と両親のどちらかが日本人の親を持つバイリンガル児童生徒の増加に伴い、彼らのことばの発達に添った持続可能な日本語教育を求める要望に応じて2021年4月、JAASCは継承日本語教育を目的とする保護者主体の「SCにほんごクラブ」(SCNC)を活動に加えました。





# SCNC設立目的

当面日本帰国を予定していない児童生徒のためにSCNCが提供するのは継承日本語教育です。

限りなくネイティブに近い日本語能力を獲得する可能性があるバイリンガル児童生徒を対象としています。彼らがすでに持っている「生活言語」を基礎に、クラス活動を通して「学習言語」を獲得することを目指しています。

様々な日本語レベルの生徒が混在するため「プロジェクト型アプローチを使った合同授業」を中心とし、彼らの複言語・複文化能力を活かす活動をカリキュラムの中心において生涯に渡って楽しく日本語を学ぶ姿勢を養うことを目的としています。





# 教育方針

## 教育理念

現地校では十分に実力を発揮している子供たちが、日本にルーツを持つことを誇りとし、日本語を継承しながら日本文化への理解を深めることの重要性を理解し、それを土台にSCNCではその可能性を追求するために、日本人コミュニティと保護者が協力して子供たちが楽しく自発的に学ぶ場を提供します。

日米両国の友好と理解を促進できるよう様々な活動でその交流に貢献します。

## 教育目標

日本人であることに誇りを持ち行動できる子どもを育てる。

生涯にわたって日本語・日本文化を学ぶ強い気持ちを持つ子どもを育てる。

自分の考えを日本語で伝え、地元の日本人社会や日本につながっていける相応の日本語能力を備えた子どもを育てる



## II. 学校生活





# クラス編成

## (1)おやこルーム

就学前の幼児対象

日本語が話せる保護者とその児童との同伴レッスン。

日本の歌や手遊び、工作など様々な親子活動を通じて、子どもの日本語力を楽しく育てるプログラムです。





# クラス編成

## (2) 継承日本語 I

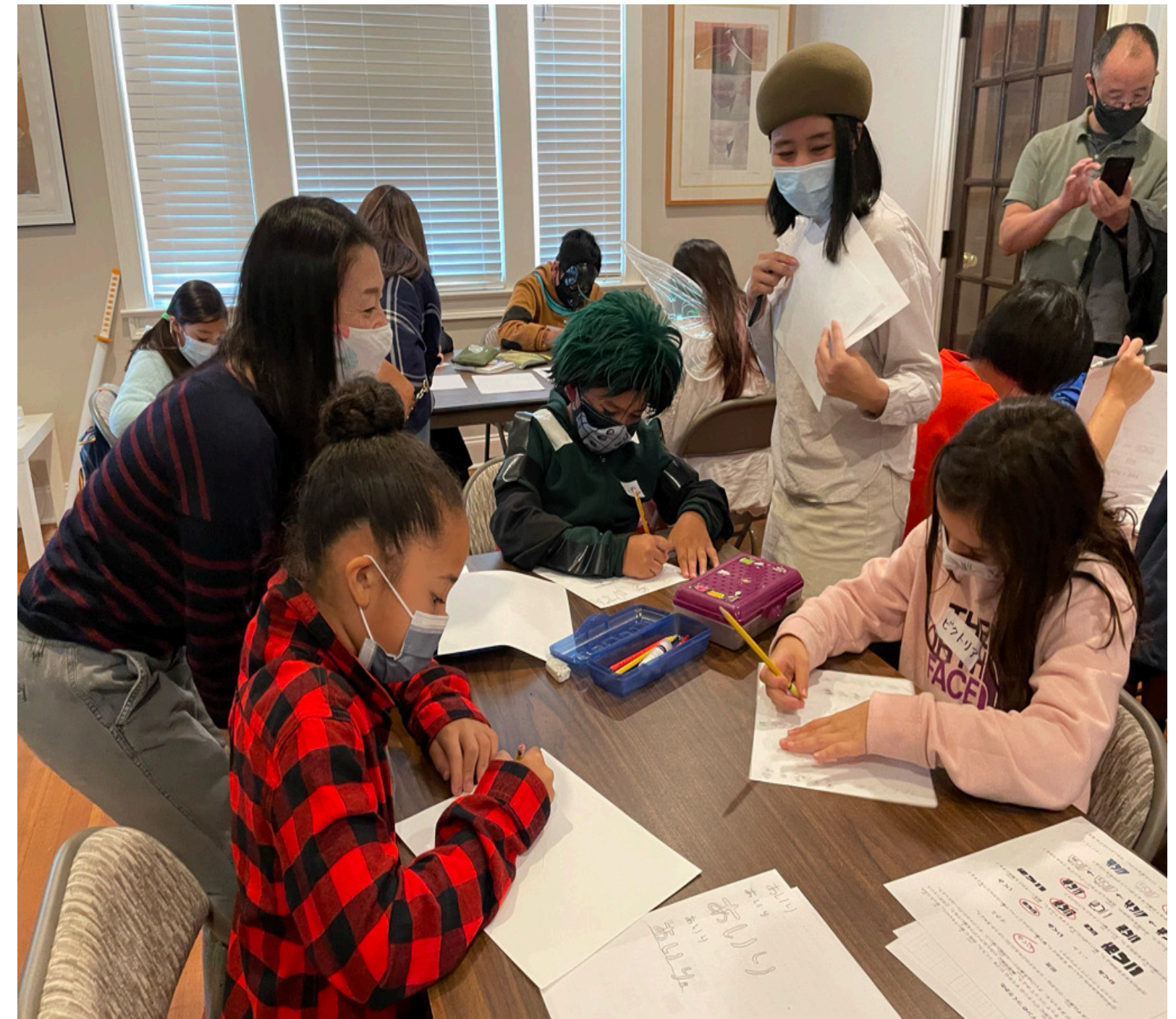
### 対象

日本語ができなくても両親のどちらかが日本人であり、家庭でのサポートが期待できるバイリンガル家庭の子女が対象です。

現地校の学年は1-3年生相当。

### クラス目標

体験型授業を楽しみ、助け合い、日本語のコミュニケーション能力を高めます。





# 継承1クラスの活動

ようこそ SC にほんごクラブ

継承①クラス

**ロールプレイ**

はじめまして!

ぼくはカエルです。

**母の日**

やあみじかんだよ!

やった〜

クリスマスカード

日本文化も学ぼう

おにぎりプロジェクト

教材・ワークブック

ひらがな読み書き学習

クラス目標

体験型授業を楽しみ、助け合い、日本語のコミュニケーション能力を高める

目は何色? もうすしよたよ〜

できた!

**福笑い**

**カタカナ学習**

体をつかってカタカナできるかな?

ごいま"あそび"

もじをながさがえてごいまにしよう!



# クラス編成

## 継承日本語 2

### 対象

補習校もしくは日本での就学経験があるバイリンガル家庭子女。現地校の学年は4年生以上相当。

### クラス目標

プロジェクトアプローチを使った合同授業で楽しく日本文化に触れ、学び、それぞれのレベルに合った日本語四技能を伸ばします。クラスでは、お互いの考えを尊重し、長所に目を向けて協力して活動します。





# 継承2クラス紹介 (a)

## 継承2クラス授業紹介

### 1学期

#### 4月 言語

テーマ  
アクティビティ

- 言語ポルト
- 言葉で遊ぼう
- 漢字ポスター

2021年の開校時は担当の先生が自主での授業でした。

みんなもこのアクティビティを楽しめると思います!

#### 5月 家族

テーマ  
アクティビティ

- ファミリー作り
- 日本の家族に手紙を書く
- ポストは家族の一員

日本の女子のこともなりました。女子のポストがはばばうはばおたがなりました。

#### 6月・8月 文化

テーマ  
アクティビティ

- 日本の文化・七夕・お盆・夏祭り
- 俳句も学ぼう(俳句掛け軸)
- 茶道体験
- ブックトーク

日本では一人大きな夏まつりはとくしまつはおおどりで、私も、見たことがありません。

#### 9月 学校

テーマ  
アクティビティ

- 学校=制・知・教・生・活
- 科目の名称 理科・国語・英語
- 給食・学校生活 (新集作り)

100万部生きたねこ

100万部生きたねこ

#### 10月 趣味

テーマ  
アクティビティ

- 趣味 今夢中になっていること
- 運動会 オリエンテーション
- 紙相撲 トーナメント

#### 11月 生活

テーマ  
アクティビティ

- 出汁について学ぶ
- もし日本で病気になったら
- 世界の国の名前

### 2学期

#### 12月 遊び

テーマ  
アクティビティ

- だるまさんごっこ
- クリスマスカード作り
- オリジナルじゃんけん
- 門松ワークショップ

ちがうの国の名前をまなべた。  
"Germany"は日本でドイツとよぶ  
"ドイツ"は日本ではドイツとよぶ  
"ドイツ"は日本ではドイツとよぶ

### 3学期

#### 1月 文化

テーマ  
アクティビティ

- 日本の文化 正月・干支
- 新年の抱負を立てる
- お正月の作りかたを学ぶ
- ブックトーク

年々おせち料理から返されたおまじないを作った。

クラスのみんなへおせち料理を作った。

#### 2月 食生活

テーマ  
アクティビティ

- 節分と縁起のいい食べ物
- カップアートの発明の歴史
- そばを変えて大豆
- レシピを調べ調理実習

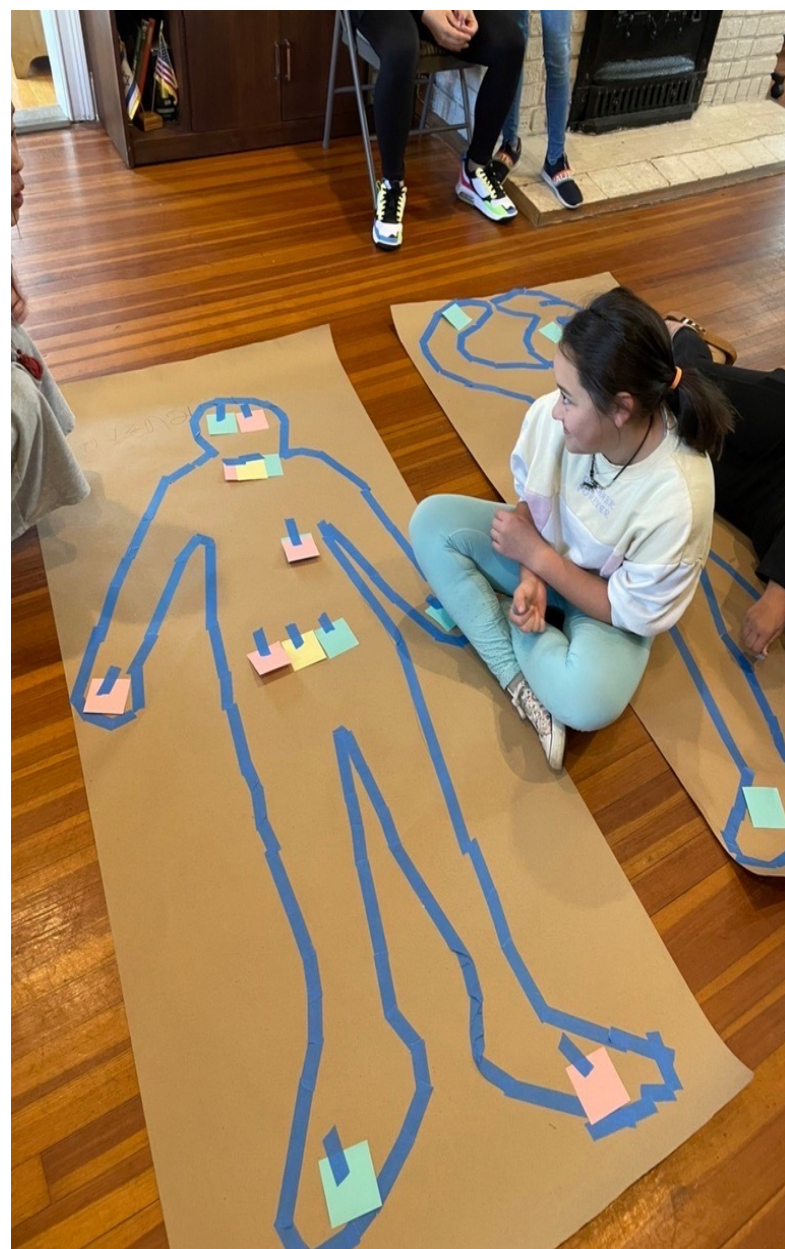
### アクティビティ型授業

それぞれに違った日本語環境を持ち、年齢差のある生徒達が同じ教室で共に学ぶクラス運営。各々が楽しみながら日本語を学び続ける授業。

月毎のテーマや季節の行事などに添ったトピック、アクティビティを通じて日本語を学ぶ。



# 継承2クラス紹介 (b)



## SCにはんごクラブ 継承2(高学年)クラス紹介

**将来、日本語を活かせる仕事が出来たらいいなあ。**

**日本の学校に通った！日本で生活する事は興味はないけど、今の日本語の力はKeepしたい！！**

**10才~16才の生徒達が共に学んでいます。**

**夏休みに日本を訪問！2週間程、日本の家族と過ごします。**

**ふかひんに短期間ですが日本に住んだことがあります。**

**継承2クラスには現在10名程が在籍しています。**

**日本の家族や友達とは日本語でコミュニケーションを取りたいので、日本語はこれからはっと学び続けたいです。**

**2~3年に1度、日本の家族に会いに日本に行きます。しばらく日本に行かないので、次に有る機会を楽しみます。**

**夏の間、1~2ヶ月日本で過ごします。幼稚園や小学校にも通って日本語に触れます。**

**お母さんが卒業した日本の大学と同じように生物学を学びたいです。**

**大学生に似たように日本に留学してみたいです。**

**みんなのお母さんのために頑張ります。**

**継承2クラス目標**  
日本語コミュニケーション能力への自信を高め、基礎となる生活言語や学習言語を習得し、生涯を通して学ぶ姿勢を養う。クラスでは、お互いの考えを尊重し、長所に目を向けて協力して活動する。

**GSS 運動会**  
ラジオ体操、玉入れ、綱引きなど慣れない種目もレクリエーション。当日はGSS(時給補償)の皆さんと共に、思いっきり楽しみました。

**地域イベント**  
Greenvilleのスクエアイベントにて開催されたJapanes Festivalにボランティア参加しました。当日は折り紙や福笑いなどを得意な英語で来場者に紹介。たくさんの方に日本の文化に触れて頂くお手伝いが出来ました。

**マユ業式風景**  
日本の学校と同じように、新年度は4月のスタートです。2021年はコロナ禍に開校したSCにはんごクラブ最初の卒業式は、生徒さんご自身の家庭でお借りして行いました。

**Declamation コンテスト**  
Clemson 大学主催のコンテストに参加資格のある中学生以上の生徒達が参加しています。長い間の暗記は大変ですが、頑張って上位入賞しました。

**日本語の勉強会**  
日本語の勉強会を開催しました。

**日本語の勉強会**  
日本語の勉強会を開催しました。



# 年間授業計画

月毎のテーマに沿ったプロジェクト学習を中心に、その日の担任が活動内容に合わせて随時教材を選択し日案を作成し、使用後はオンライン・ファイルし、教師間で共有。そして授業の結果をもとに年間計画を更新します。

「クラスで英語は話さない！」ではなく、「日本語で話してみたい」と思える場の提供を念頭に授業計画を練っています。

- 2023年の各月テーマ例：

	テーマ		テーマ
4月	言語	11月	生活
5月	家族	12月	遊び
6月	日本文化1	1月	日本文化2
8月	日本文化1	2月	食生活
9月	学校	3月	自然と社会
10月	趣味		



# 教材

光村国語教科書  
日本語教材

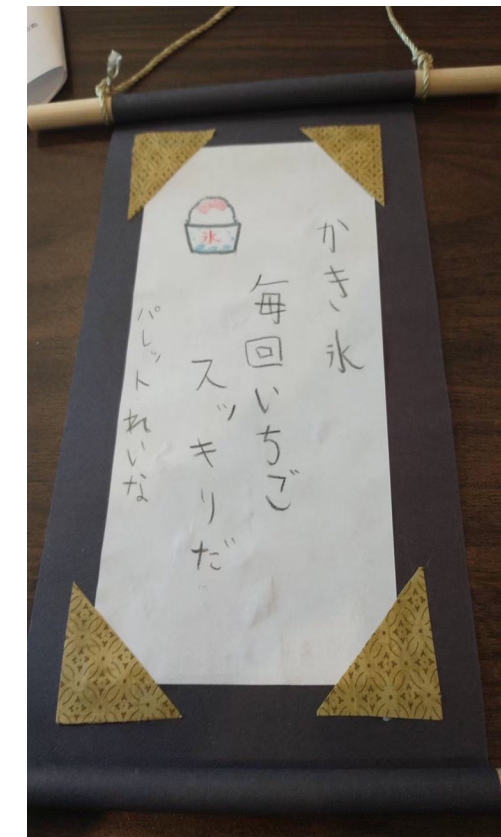
げんき全巻、とびら全巻、その他日本語教科書等

継承日本語教材

おひさま、このゆびとまれ、はないちもんめ

生教材

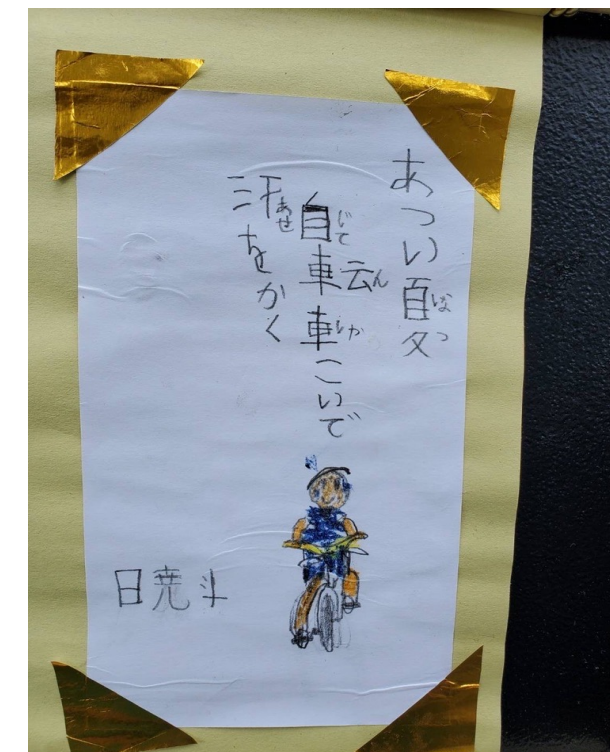
新聞、広告、マンガ、チラシなど



継承1は「おひさま」を主教材に「このゆびとまれ」「はないちもんめ」を副教材としています。

継承2の教師は授業計画に沿って臨機応変に教材を選んでいきます。

継承2の生徒による俳句作品





# 評価方法

担当者が個々に気づきを保護者に伝えることはありますが、特に通知票のような形で評価はしていません。

学年末に継承日本語教育専門家がインタビュー形式で会話力、読みの力、考える力を評価し結果を個々保護者に周知しています。

準拠とするスタンダード:

- (1) ACTFL World-Readiness Standards for Learning Languages
- (2) Can-Do Statements CEFR
- (3) JF日本語教育スタンダード

参考資料:

- (1) DLA外国人児童生徒のためのJ S L対話型アセスメント Dialogue Language Assessment for Japanese as a Second Language  
文部科学省初等中等教育局国際教育課
- (2) 子どもの会話力の見方と評価  
Oral Proficiency Assessment For Bilingual Children  
カナダ日本語教育振興会  
The Canadian Association for Japanese Language Education



# SCNC 多読の導入と実践方法

## 「ちょこっと多読」の導入

日本語力の増強は語彙力の強化に他なりません。その語彙力を育てるのはなんといっても読書です。

本好きの子供を育成しようとSCNCでは2022年度よりカリキュラムに多読を導入しました。従来のNPO法人が推奨する多読の本読み時間を短縮した「ちょこっと多読」ですが、担当教師より確実に効果が出始めていると報告されています。

## 事前教師研修

保護者/教師はSCNCアドバイザー岸本による「多読の活用と学習言語力の育成」を受講します。

## 実施方法：

生徒は読みたい本を選んで教室へ静かに読む。読後記録を提出するのが9:15am（正味10分程度の読書）

多読ルールに従う

- やさしいレベルから読む
- 辞書を引かないで読む
- 分からないところは飛ばして読む
- 進まなくなったら他の本を読む。





## SCNC生徒の読み方の傾向

初年度多読記録より

- 1) 読むというより本を見ている生徒。ともかく15分間は本に接している。
- 2) 毎回連続して同じ本を借りて続きを読む生徒。十分では読み終わらないので。
- 3) 一度読んだ本を数回おいてから読む生徒。やっぱり続きが気になる。
- 4) 友達の影響を受けて同じ本が数名の生徒に貸し出されている。

## 音声付き教材の登場

2年目に入り、多読道場のオンライン版を活用するようになってからの生徒の“食いつき”は目覚ましくスマホやタブレットで読書するという新時代が到来しています。





# III. 課外活動

## 目的

通常授業とは別に、その時期に応じた日本の行事や授業では充分に取り上げられない日本文化を経験する企画を課外活動として実施しています。

## テーマ

日本語力を幅広く捉えて、ゆとりの中で日本語への興味を持続させようと夏祭り、運動会、着物/浴衣、料理などをテーマにしてきました。

## その他

2ヶ月に一回を目安に土曜日の午後二時間をあて、S C N C生徒以外の子どもと保護者も招待しています。実費徴収。





# 運動会 ・ 先輩のお話し会 ・ 夏祭り





# オープンハウス・感謝の会





# バイリンガル・フォーラム（研修活動）

保護者・教師への啓蒙・研修活動としてバイリンガルフォーラムを実施しています。

SCにほんごクラブ部外者にも参加を呼びかけ、当クラブの活動や方針を知ってもらおう良い機会となっています。年2回を目安としています。

## 2021-2023 バイリンガルフォーラムのトピックス

1. 補習校教育と継承日本語教育（2021）
2. 多読の活用と学習言語力の育成（2021）
3. 複言語・複分化能力を養うために親・教師が出来ること（トランスランゲージング&言語マップ）（2022）
4. 継承日本語話者の特徴（2023）
5. 「多読・多聴・読み聞かせ」で育てよう日本語力（2023）

★SCにほんごクラブ 第3回課外活動★  
SCNC バイリンガル・フォーラム  
～多読の活用と学習言語力の育成～

バイリンガルファミリーの皆様、

SCにほんごクラブでは、今年18日(土)に第3回課外活動として、SCNC バイリンガル・フォーラムを開催予定です。クレムソン大学の岸本 俊子先生を講師に迎え、「多読の活用と学習言語力の育成」のテーマのもと、「多読」という読書方法を用いたバイリンガル児童の言語力の育み方についてご講演いただきます。当クラブでも今後、積極的に取り取りたい語学教授法です。皆様、どうぞお誘い合わせの上、ご参加ください。

<日時> 12月18日(土) 午後2時～3時45分

<場所> Upstate International: 9 S Memminger St, Greenville, SC 29601  
(駐車場は一軒手前の空き地をご利用ください)

<対象> 「多読」に興味のあるバイリンガル児童の保護者

<概要> ★「多読」とは何か  
★「多読」の活かし方  
★学習言語を育てる工夫  
- 我が子の日本語能力は？  
- 継承日本語/日本文化を学ぶヒント  
- 高度な思考能力を養うカリキュラムとは

<持ち物> 筆記用具(ハンドアウト書込み時)

参加ご希望の方は、12月15日(木)までに 平良 (miki.thompson@gmail.com) までご連絡ください。

★SCにほんごクラブ★  
2023年度 第4回課外活動  
バイリンガル・フォーラム  
～『多読/多聴/読み聞かせ』で日本語力を育てよう！～

バイリンガルファミリーの皆様、

夏やかなハロウィンも終わり、雪は一時にホリデーシーズン色になっていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たちがほんごクラブは、皆様は日本語となるバイリンガルフォーラムを11月18日(土)に開催いたします。今年は、「多読」「多聴」「読み聞かせ」の3つの日本語教育法の観点から子どもたちの読書力の育て方について考えたいと思います。日本語バイリンガルのお子様を持つ保護者の皆様、日本語指導に関わらなくても興味のある皆様、どうぞお誘い合わせの上ご参加下さい。

<日時> 11月18日(土) 午後2時～4時00分

<場所> Upstate International: 9 S Memminger St, Greenville, SC 29601  
(駐車場は、会場に向かって左手先の空き地をご利用ください)

<対象> 日本語バイリンガルのお子様を持つ保護者、及び 日本語指導に関わる(もしくは興味のある)方

<内容> (1) バイリンガルからマルチリンガルへと進化する継承語教育の現在  
(2) 複言語・複文化能力とは一体何なのか? 具体的に可視化した試みの紹介  
(3) 言語習得ツールを用いて言語習得を可視化し、差異交換。  
a. 教師・保護者自身の言語習得を知る。  
b. 親が子の言語習得を可視化する。  
c. 家庭に持ち帰り子供と一緒に作業する。  
(4) 3から見えてきた事項をSCNCの新年会に向けてどのように生かせるか。

<参加費> 無料

参加ご希望の方は、11月15日(木)までに 平良 (miki.thompson@gmail.com) までご連絡ください。

★SCにほんごクラブ 課外活動★  
SCNC 2022 年度バイリンガル・フォーラム  
「複言語・複文化能力」を養うために  
親・教師ができること

バイリンガルファミリーの皆様、

無事にハロウィンも終わり、雪は早くもクリスマスモード。皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たちがほんごクラブは、昨年引き続き、今年もクレムソン大学 Emeritus College の岸本俊子先生を講師に迎え、バイリンガル・フォーラムを開催いたします。日本語バイリンガルのお子様を持つ保護者の皆様、日本語指導に関わる(もしくは興味のある)皆様、子どもたちとご一緒に向き合うべきかを考える機会をご提供させていただきます。どうぞお誘い合わせの上ご参加下さい。

<日時> 11月19日(土) 午後2時～4時00分

<場所> Upstate International: 9 S Memminger St, Greenville, SC 29601  
(駐車場は、会場に向かって左手先の空き地をご利用ください)

<対象> 日本語バイリンガルのお子様を持つ保護者、及び 日本語指導に関わる(もしくは興味のある)方

<内容> (1) バイリンガルからマルチリンガルへと進化する継承語教育の現在  
(2) 複言語・複文化能力とは一体何なのか? 具体的に可視化した試みの紹介  
(3) 言語習得ツールを用いて言語習得を可視化し、差異交換。  
a. 教師・保護者自身の言語習得を知る。  
b. 親が子の言語習得を可視化する。  
c. 家庭に持ち帰り子供と一緒に作業する。  
(4) 3から見えてきた事項をSCNCの新年会に向けてどのように生かせるか。

<参加費> 無料

参加ご希望の方は、11月15日(木)までに 平良 (miki.thompson@gmail.com) までご連絡ください。  
★参加費には事前にツール・シートを説明書とともに送信しますので、予習しておいてください。



SCにほんごクラブ  
秋のバイリンガル・フォーラム

『多読・多聴・読み聞かせ』で  
育てよう日本語力

2023年11月18日



**SCNC**  
ぺちやくちゃ  
タイム

子供達の日本語力を伸ばすために  
親のできることに

A colorful illustration of four children sitting at a table. One child in a yellow shirt is pointing upwards. The style is simple and cartoonish.



# その他の教師研修 (zoom)

主催団体		研修内容
NEACTJ	米国北東部日本語教師会	カリキュラム作成ワークショップ
AG5	海外子女教育財団・文科省	補習授業校・継承語校情報交換会 高度グローバル人材の育成
MHB	母語・継承語・バイリンガル学会	カリキュラム研究・CFR-RV
JMHERAT	タイにおける母語・継承語としての日本語研究会	バイリンガルの子供のための日本語教室 複言語・複文化ワークショップ 家族の言語政策 (FLP)
もっとつ なぐ	ドイツのグループ	わたし語ポートフォリオ
SCNC	バイリンガルフォーラム(対面) (岸本ワークショップ)	多読のすすめ 複言語・複文化能力を養う
スイス日 本語教師 会	バーゼル、ベルン、ルツェルン 校教師	交流会：教科書の使用、中上級カリキュラム、継承語 校の諸問題
SCNC	Zoom Meeting (隔週)	運営、授業内容、ミニ研修



## IV. 運営上の問題点と対応策

週末授業校が直面する問題点	SCNC対応策
a) 慢性的教師不足	教師ローテーション方式
b) クラス内日本語能力差	TA(指導助手) の導入
c) 現地のコミュニティ活動と週末授業校の共生	授業料支払い方法の工夫 回数券制度の実施



# 慢性的教師不足➡教師ローテーション方式導入

SCにほんごクラブ（SCNC）の特徴として、慢性的教師不足を解決するため複数の教師が1つのクラスを交代で担当し指導しています。

## 実施方法

ひとクラスを4人の日本語母語教師がローテーションを組んで受け持ち、月一回担当します。

年間計画に示された月ごとのテーマや達成目標に従って各教師がオリジナルの日案を作成、実施した日案は共有フォルダに保存し、相互に授業内容を確認します。

必要なタイミングでアップデートし、振り返りを行うことが可能です。  
また月一回の教師会及びLINEで随時情報交換を行って進捗状況を共有し、チーム一丸となって生徒の日本語力育成を目指すことができます。

教師ローテーション方式はスムーズに実施されています。



# 教師ローテーション方式

## 長所

- (1) 保護者が教師を兼任するために二つの視点に立って日案を作成し実施することができます。
- (2) 他の教師の様々なアイデアを自分のクラス活動に取り入れることができます。
- (3) 授業間のアティキュレーション（継続性と同一性）確保のためにお互いの授業を理解し切磋琢磨することができます。
- (4) 専任教師を探すよりローテーション教師の方がリクルートしやすい。

教育に関心のある優秀な社会人が月一回なら可能と本業の傍ら引き受けてくれるケースが多く、より多くの保護者や該当者に声が掛けやすく、参加を呼びかけています。



# 教師ローテーション方式

SCNCではローテーション方式を開校時より採用しており、すでに制度として定着しています。

教師不足が慢性化している週末授業校において、SCNCが実施している教師ローテーション方式は画期的なやり方の一つだと思います。

多読ブックトーク風景 →





# クラス内の日本語能力差 → TA（指導助手）導入

- 生徒の日本語能力差が大きく一教師の Teaching Skillでは時間内に十分な指導をすることができません。そこでボランティアの TA（指導助手）を導入し、担当教師の指導の下、日本語力不足の生徒に寄り添って、臨機応変にscaffoldingサポートを行なっています。
- 授業が理解できず時間を持て余していた生徒がなくなり、生徒全員が活発に学習活動に参加できるようになりました。現在中高生TAは全体の7割で残りは「応援団」つまり日本人コミュニティの皆さんにお願いしています。





# TA（指導助手）導入

## 中高生TA採用条件

- a.日本語での会話ができること。
- b.少なくとも、補習校中学3年生修了レベルの会話ができること
- c.家庭で、日本語を日常的に使用していること
- d.教師と日本語で意思疎通、指導内容の理解ができ、指導補佐が日本語でできること

## TAスケジュール管理

日程とTA必要数が記入してあるsignup geniusというリンクを使用。

TA担当者が定期的にTA候補者にメールを送り、signup geniusに可能な日を登録してもらいます。

signup genius の情報からTA担当者が日時とTAのリストを作成して該当教師に渡します。教師は事前にTAに連絡をとり、授業の内容を説明します。

SCNCは各TAが所属する学校のボランティア・クレジットを交付します。

各学校の方式に合わせて必要に応じて対応しています。

中高生TAにとっては現地校のみならず、帰国時の転校先でもベネフィットとなるわけでまさにウィンウィンの制度です。



# 現地のコミュニティ活動と週末授業校の共生

## 共生する為の授業料支払い方法の工夫

- 継承語児童生徒にとっては現地コミュニティに根を下すことは必須です。コミュニティの週末の活動がSCNCの授業時間と重なった場合、積極的に現地コミュニティ活動に参加し、しかもSCNCでの勉強も続けられるよう、SCNCでは回数券制度を設けました。
- 全ての授業に出席するのが前提ではありますが、それが叶わない場合は月謝ではなく回数券で出席日だけの授業料を払うことで、家庭の負担を軽減させ、且つ継承日本語を継続させる機会を与えています。この制度により子供たちはコミュニティのスポーツ活動などに参加し、良い結果を出して自信をつけ、日本語の勉強も続けることができます。

## 回数券制度の実施

- 回数券は8回分つづりで\$160。有効期限は購入した学期と連続した次の学期までとなっています。学期の途中で通常生徒（フルタイム）に移行したい場合は、通常生徒としての授業料から、当該学期で使用した回数券の回数分と未使用分を差し引いた金額を支払うことで、通常生徒に移管することができます。また、兄弟姉妹間で同じ回数券を使用することも可能で、保護者にとっては経済的負担を抑えることができます。
- ちなみに正規の授業料は1学期\$150、2学期\$200、3学期\$150。回数券利用の1回分の額は割高となります。



# SCNCを取り巻くサポート

## SCNC 「応援団」の存在

保護者主体の手作り継承語学校であるSCNCは日本人コミュニティのサポートがなくては回すことができません。多大な協力を得て開校から3年が過ぎようとしています。

幸いなことに子育てが終わった先輩ママ、自分がバイリンガルの状況で育った青年、親の都合で渡米してきた高校生、教えるのが好きな日本人などボランティアとして参加してくれる「応援団」の数は今まで35人に上ります。定期的に授業にアシスタントとしてきてくれる人は一部ですが、多くの方々に課外活動などでお手伝いしていただいています。

## 現地補習校との友好関係

現地補習校からの友好関係も見逃せません。毎年の運動会には子供ばかりか保護者も支援者として参加します。

日本の学校行事に参加できることは子どもたちにとって掛けがえのない経験で、楽しい思い出の一つに数えられています。





「SCにほんごクラブ 学校案内」をご覧いただき  
ありがとうございました。

ご意見・ご質問・お問合せなどありましたら  
下記のSCNC運営委員会まで是非ご連絡ください。  
皆様のお声をお待ち申し上げております。

SCNC運営委員会連絡先：[scnihongoclub@gmail.com](mailto:scnihongoclub@gmail.com)

運営委員長：Jiro Nagatomi (長富次郎)

副委員長：Arisa Parette (パレット亜里砂)